

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月19日更新

事務事業名		官民境界立会事務		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康	所属部	都市建設部	課長名	岩男 竜彦
	施策	2	行政改革の推進	所属課	建設課	担当者名	榎野 努
	施策の柱	12	公有財産の管理運営	所属班	維持管理班	(内線)	5253
予算科目	会計一般	款 8	項 1	目 1	事業連番 11152	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	土地の所有者が道路等との境界確定を行う際、申請に基づき境界立会を行い境界の確定を行う。国土調査が昭和40年代になされたが、その当時は木杭の設置であったため、年月が経ち杭がなくなり境界が不明になっている。このため境界を明確にし、個人及び市の財産の管理を行うものである。変化は見られない。
【業務の流れ】	申請の受付、立会い日程の調整、境界立会い、記録簿の作成
【主な予算費目】	なし
【意見や要望】	特に旧西合志町の地図の精度が悪いという意見があり、併せて地籍調査をやり直した方がよいのではという意見がある。旧西合志地区の地籍図において、筆界未定の土地が多すぎるとの意見がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)	申請書受付、審査、境界立会い、記録簿作成。	30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 申請件数	件	
→ イ: 立会日数	日	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市道と市道に接する民地。*(ここでの市道とは市道のほかに里道・水路・市所有公衆用道路を含む。)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 筆
		→ ア: 申請筆数
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市道と市道に接する土地との境界を確定する。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 件
		→ ア: 官民境界対応件数
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
国土調査の境界点を現地で測りだした場合、まれに合致しない点がある。このような状況も踏まえ所有者に理解を得て境界を確定する。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込	
① 活動指標	ア 件	130	138	150	138	150	150	150	150	150	
	イ 日	84	85	100	85	100	100	100	100	100	
② 対象指標	ア 筆	197	251	210	217	210	210	210	210	210	
	イ:										
③ 成果指標	ア 件	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ:										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	6	5	4	5	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	875	780	0	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150
(B) 人件費計	千円	3,248	0	0	4,549	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,248	0	0	4,549	0	0	0	0		

事務事業名	官民境界立会事務	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 境界杭は本来所有者の財産である。所有者の費用負担は発生するが、所有者の理解が得られれば解決につながる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 国土調査を再度実施すれば成果を向上できるが、それには膨大な時間、予算がないと行えない。また、住民の理解が得られないと予想される。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 適正な事業の推進及び正職員の人件費以外に事業費はないため、削減余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 境界確定には管理者として責任が伴うため、正職員以外の職員が行うべきではない。ただし、境界確定に専門的な知識を持つ者をとということであるならば、境界立会いには正職員二人が必ず対応するためそのうち一人は正職員以外の職員もしくは委託でよい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 公共の道路・里道・水路等は市の財産であるため行政で事業を行うべきである。

3 評価結果の総括 (CHECK)

土地の所有者の申請により境界立会を行うので、特に成果はない。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						